



若いチカラがミライを創る

「伊賀市若者会議」が発足しました



9月29日(土)ハイトピア伊賀で伊賀市若者会議キックオフイベントが開催され、第1期メンバーの活動がスタートしました。

このまちの未来を担う若者たちが、自ら主役となって伊賀市をより良くするための活動を行います。

若者会議とは

「伊賀が好き」「地元のために何かやりたい」「同世代の人たちと交流したい」という考えを持った18歳から35歳の若者が集まった活動グループです。今年8月、第1期メンバーを募集したところ、59人から応募がありました。

メンバーは、男性が29人、女性が30人で、20歳代が41人と、全体の約7割を占めています。また、伊賀市在住の人をはじめ、伊賀市の出身で現在は大阪や東京に住んでいる人、市外から伊賀市に移住された人、海外での生活経験のある人などで構成されています。

若者会議結成の経緯

伊賀市の人口は、2010(平成22)年に10万人を下回って以降、減り続けています。今後もこのような状況が続けば30年後には人口が現在の約3分の2、6万人程度になると予想されています。

また、伊賀市の年齢別の転入・転出者の数は、高校と大学の卒業時期である18歳と22歳、そして20歳代から30歳代で伊賀市へ転入してくる人よりも転出していく人のほうが多くなっており、人口減少の大きな要因となっています。

そのため市では、「来たい・住みたい・住み続けたい伊賀市」をテーマに子育て支援、移住交流など人口減少に歯止めをかけるためのさまざまな事業を行っています。今回、これらの取り組みを若者を中心とした市民との協働によってさらに発展させるとともに、地域に根つき、より良い伊賀市をつくる意識と実行力を持った人材を育成し発掘するため、伊賀市若者会議を発足しました。



伊賀市若者会議の活動内容

若者会議のメンバーは、市が実施する市内や都市圏でのプロモーションやイベント活動、市内の各県立高等学校が実施している地域課題の解決に関する授業や、地域産品を活用した商品開発などのプロジェクトに

これまでの活動

○プロジェクト活動

伊賀上野シティマラソンや伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園などの会議に企画し、イベント当日に実施する企画や調査活動を若者の視点で検討しました。



◀東京からインターネットを使って会議に参加するメンバーもいました。



参加し、伊賀市がより良くなるための方策を考えたりします。また、メンバーそれぞれの思いやアイデアを実現するために定期的に集まって企画会議を開催します。

○企画会議

11月4日(日)に開催された第3回まちづくりラウンドテーブルにメンバー16人が参加し、市内県立高等学校に通う高校生や市職員、一般参加者とワークショップを行いました。また、代表メンバーが市長と意見交換を行いました。



◀10年後の伊賀市の姿を考えました。



若者会議のメンバーに意気込みを伺いました

小崎未唯さん



伊賀市のことを少しでも他の地域の人に知っていたくために、企画や運営を頑張りたいと思います。また、この活動をを通して、伊賀市のことについてより深く知りたいと思います。



久米利昭さん



若者会議を通して、みなさんに伊賀市に興味を持っていただき、行ってみたいと一人でも多くの人に思ってもらえる伊賀市の魅力づくりに貢献したいと思っています。



岩野和磨さん



大学で行っている松尾芭蕉に関する研究や伊勢を中心とした地域活動に参加して得た観光についての知識を生かして伊賀市の魅力を発信していきたいと思っています。



第1期メンバーの任期は、2020年3月までです。伊賀市若者会議では、若者ならではの視点と感覚でこれからの伊賀市をより良くするための企画やアイデアをどんどん提案していきます。メンバーの活動にぜひご期待ください。応援よろしくお願ひします。

【問い合わせ】

総合政策課

☎ 22・06033 FAX 22・06022

✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp